

日韓国交正常化50周年記念国際交流特別展

新発見の高麗青磁

Special Exhibition

Commemorating
the 50th Anniversary of
the Normalization of
Japan-ROK Diplomatic Relations

Newly Discovered Goryeo Celadon
and the Achievements of
Underwater Archaeology in Korea

韓国
水中考古学
成果展

2015年

9月5日(土) - 11月23日(月・祝)

大阪市立東洋陶磁美術館

The Museum of Oriental Ceramics, Osaka



海深く、
眠り続けた謎が、
いま、
目を覚ます。

【同時開催】
特集展「中国青磁の美
平常展「安宅コレクション」中国陶磁、
安宅コレクション、
李秉昌コレクション、韓国陶磁、
沖正一郎コレクション、鼻煙壺

青磁獅子形香炉蓋 高麗時代11-13年以前 韓国国立海洋文化財研究所蔵
写真 六田知弘

【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
【休館日】月曜日(9/21、10/12、11/23は開館)、
9/24(木)、10/13(火)

【主 催】大阪市立東洋陶磁美術館、韓国国立海洋文化財研究所、
韓国国際交流財団、読売新聞社

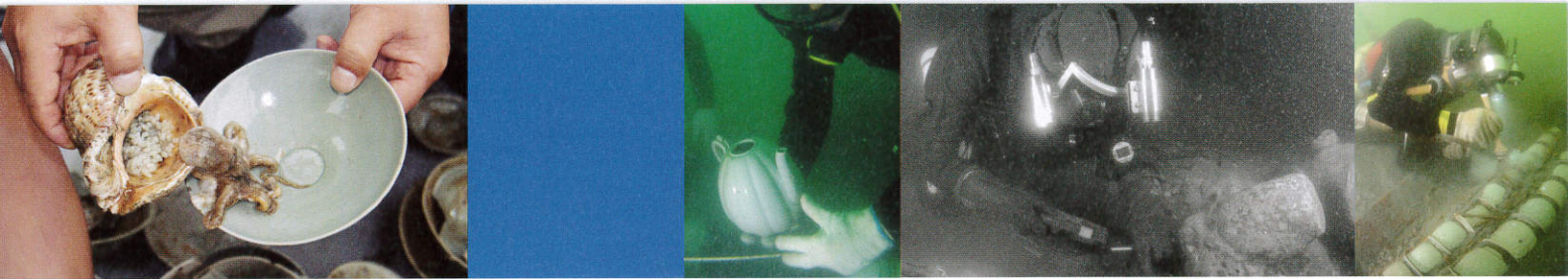
【後 援】駐大阪大韓民国総領事館

青磁獅子形香炉蓋 高麗時代11-13年以前 韓国国立海洋文化財研究所蔵
写真 六田知弘



KOREA FOUNDATION





タコによって「発見」された高麗青磁(泰安郡泰安船)

泰安郡泰安船発掘の様子

写真提供: 韓国国立海洋文化財研究所

高麗時代(918~1392)に作られた青磁、高麗青磁は、韓国の美術史上に大きな位置を占め、世界に誇るべき美術品です。1980年代以降、朝鮮半島中西部で窯址の発掘調査が進展するに従い、高麗青磁の起源をめぐる研究が大きな転換期を迎えました。そうした新たな研究成果を日本で初めて紹介したのが、2004年に当館で開催された「高麗青磁の誕生展」です。高麗青磁の研究は、文献調査や窯址発掘のみならず、近年では、水中考古学による研究成果が注目を集めています。1976年、朝鮮半島西南部の新安沖で発見された「新安船」の調査はその後の韓国水中考古学のモデルとなり、韓国国立海洋文化財研究所によって水中考古学が目覚ましい発展を遂げました。現在、同研究所によって調査された高麗青磁や、紀年銘が書かれた木簡などの海底遺物に基づいて、高麗青磁の編年や生産、流通の実態が具体的に解明されつつあります。本展は、韓国国立海洋文化財研究所がこれまでに調査した高麗青磁など、その研究成果を日本で初めて紹介するものです。最新の水中考古学の調査によって発見された引き揚げ品を中心に、高麗青磁の歴史を概観しつつ、これまで知られていなかった新しい側面を明らかにします。なお、これら海底遺物と関連のある当館所蔵の高麗青磁の名品も合わせて展示します。



①青磁陰刻蓮花文梅瓶 1213年以前 泰安郡馬島2号船出土 ②青磁象嵌菊牡丹柳蘆竹文梅瓶 1213年以前 泰安郡馬島2号船出土 ③木簡 1213年以前 泰安郡馬島2号船出土
④青磁皿 1131年以前 泰安郡泰安船出土 ⑤青磁彫刻童子形水滴片 12世紀後半-13世紀前半 保寧市元山島出土 ⑥青磁獅子形香炉蓋 1131年以前 泰安郡泰安船出土
⑦稲、粟、蕎麦(上から) 1208年以前 泰安郡馬島1号船出土 ⑧青磁透彫台 1208年以前 泰安郡馬島1号船出土 ⑨すべて韓国国立海洋文化財研究所蔵 ⑩写真:六田知弘

【記念講演会】

講師:「韓国水中考古学の概観」申鍾国氏(韓国国立海洋文化財研究所・学芸研究官)
「海底引き揚げの高麗青磁について」朴禮里氏(韓国国立海洋文化財研究所・学芸研究士)
日時:2015年9月5日(土)午後1時30分~(受付開始午後1時から)
場所:大阪市立東洋陶磁美術館・地下講堂
定員:70名(事前申込制)

※往復着書に住所・氏名・電話番号を明記の上、東洋陶磁美術館学芸課までご郵送ください。
着書1枚につき1名様有効。応募者多数の場合は抽選となります。
※申込締切2015年8月25日(火)必着
※参加無料(展覧会には別途観覧料が必要)
※お申込みの際にご提供いただく住所・氏名などの個人情報は厳重に管理し、本事業の実施ならびに事務連絡以外には使用いたしません。
※特別展「新発見の高麗青磁—韓国水中考古学成果展」会期中、その他のイベントについては、当館ホームページ(<http://www.moco.or.jp>)を、ご覧ください。

【開館時間】午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
【休館日】月曜日[9/21、10/12、11/23は開館]、9/24(木)、10/13(火)
【主催】大阪市立東洋陶磁美術館、韓国国立海洋文化財研究所、韓国国際交流財団、読売新聞社
【後援】駐大阪大韓民国総領事館
【料金】一般1200円(1000円)、高大生700円(600円)
()内は20名以上の団体料金/中学生以下、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名含む)、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明)は無料
【交通】京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ、地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」、地下鉄堺筋線・京阪本線「北浜」各駅から約400m、大阪市中央公会堂東側
【問い合わせ】大阪市立東洋陶磁美術館 〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26
電話06-6223-0055 Fax06-6223-0057 <http://www.moco.or.jp>

